

各 位

生命保険に関する調査研究に対する助成募集のご案内

当財団は、生命保険に関する諸問題についての調査研究に対する助成事業を昭和61年度より行っており、平成16年度からは優秀な調査研究に対して、表彰を実施してきたところです。

令和8年度におきましても、引き続き助成事業を行いますので、別添「令和8年度調査研究に対する助成募集要項」を送付させていただきました。皆様からのご応募をお待ちしております。

なお、「募集要項」につきましては、当財団のホームページにも掲載をしております。

また、令和6年度助成に係る「生命保険に関する調査研究報告（要旨）No.36」を発行いたしましたので、ご参考まで同封いたします。

令和8年3月

〒113-0033 東京都文京区本郷3-19-4

本郷大関ビル

公益財団法人 かんぽ財団

TEL 03 (6801) 5105 FAX 03 (6801) 5109

URL <https://www.kampozaidan.or.jp/>

# 令和8年度調査研究に対する助成募集要項

令和8年3月  
公益財団法人かんぽ財団

## 1 助成の趣旨

生命保険に関する調査研究に対して助成を行い、保険事業の健全な発展向上に寄与し、もって少子高齢・人口減少社会における個々人の生活設計を支援します。

## 2 調査研究対象分野

生命保険及びその周辺環境の分野を対象とします。保険学(論)、経済学、経営学、商学、会計学、法学、政治学、社会学、社会福祉学、家政学、教育学、数学、統計学等の諸分野や、リスクマネジメント論、金融論、ファイナンス論といった様々な分野からのアプローチが可能ですので、自由にテーマを設定してください。

平成19年度以降に助成した調査研究テーマ等は当財団のホームページ(<https://www.kampozaidan.or.jp/>)に掲載していますのでご参照ください。

注: 助成の対象とならない調査研究

- ① 既に完了しているもの、図書出版等の営利を目的とする調査研究
- ② 研究集会等へ参加しその報告取りまとめを主たる目的とする調査研究
- ③ OA機器(ソフトを含む)の購入を主たる目的としているもの

## 3 助成対象者

上記2の調査研究対象分野に関する調査研究を行う研究者または研究グループとしますが、特に講師、助教、大学院生(博士後期課程)、その他これらに準じる研究者の積極的な応募をお待ちしています。なお、応募は日本国内に在住している方に限ります。また、連続しての助成及び直近5年間に3回助成を受けた者への助成は、原則、行いません。

## 4 助成金額

60万円以内(総額1,200万円以内を予定)

なお、助成額は、申請額より減額されることがあります。

## 5 調査研究対象期間

原則、令和8年7月～令和9年6月の1年間とし、令和9年6月末までに報告書類を提出していただきます。

なお、特に必要と認められる場合に限り、調査研究対象期間は、最大2年間の範囲内とすることができるものとします。この場合には、その必要性を、別紙「調査研究助成

に提出してください。

注：報告書用紙は助成決定通知とともに送付します。

## (2) 調査研究報告書類の提出

上記5の調査研究対象期間での調査研究の成果を、令和9年6月末日(1年間を超える調査研究対象期間となる場合には、調査研究対象期間の末日)までに、次により(報告書類ア～オを作成)当財団へ提出してください。

なお、提出にあたっては申請承諾者に内容の確認を受けてください。

ア 調査研究報告書類提出書

イ 調査研究報告書(20,000字～40,000字程度)

ウ 同上要旨(2,500字～3,000字程度)

エ 研究者プロフィール(130字程度)

共同研究の場合は代表者またはグループについて記載

オ 会計報告書

費目、金額、内訳等(領収書若しくは領収書の写し又は収支簿の写しを含みます。)

注1 ア、オの様式は、助成決定通知とともに送付します。

注2 イ、ウ、エは、A4判の用紙を使用してパソコン等で作成してください。

(書式等は、別途連絡します。)

エは、ウの上段に記載してください。

なお、報告書類は原則として日本語としますが、ウについては、英訳版も併せて提出願います。

注3 調査研究における分析結果等について、今後どのように活かしたら良いのか、できれば施策的な提言にも言及してください。

注4 共同研究の場合は、調査研究報告書及び同要旨は共同研究者個々のものではなく、テーマに対する一つの調査研究として取りまとめたものを提出してください。

注5 論文発表等のため、調査研究対象期間以後も引き続き研究を続けられる場合も、助成を受けた研究の区切りとして調査研究対象期間末までに報告書類を提出してください。

(3) 調査研究の成果はできる限り学術誌、学会等で発表してください。調査研究の成果を発表するときは、「公益財団法人かんぽ財団令和8年度の助成による成果である」旨を明記又は言及してください。なお、発表された場合、発表論文名、書籍(掲載誌)の写しを、また、学会等での発表は、会場、日時、発表資料の概要を当財団に送付してください。優秀研究賞の審査等の際の重要な参考となります。

のお知らせ(申込書等必要書類を含む。))を送付します。

#### 11 その他

(1)本調査研究助成の助成対象者及びテーマと上記8(2)により提出いただいた「調査研究報告書」及び「調査研究報告要旨」は、当財団のホームページに掲載します。

また、「調査研究報告要旨」は取りまとめて、「生命保険に関する調査研究報告(要旨)」として発行する予定です。

(2)本調査研究に対する助成は、「一般財団法人 簡易保険加入者協会」の協力を得て行います。

## 調査研究助成申請書

年 月 日

公益財団法人かんぽ財団  
理事長 利根川 一 様

申請者 (研究代表者) \_\_\_\_\_ 印

貴財団の調査研究助成を受けたいので、次のとおり申請いたします。

1 調査研究 テーマ			
2 研究形態	<input type="checkbox"/> 個人研究 <input type="checkbox"/> 共同研究 ( 名、グループ名 )		
3 研究者・共同研究は代表者	フリガナ 氏 名	年 月 日生 ( 歳)	
	現住所	〒 TEL — — FAX又はE-mail	
	所属機関・ 学部・役職名		
	同 所 在 地	〒 TEL — — FAX又はE-mail	
4 共同研究者	氏 名	所属機関 ・ 学部 ・ 役職名	年 齢
5 調査研究期間	年 月 ~ 年 月 (原則、令和8年7月から1年の期間内、報告書類の作成を含む。)		
6 助成申請金額	万円 (総経費額 万円)		

上記研究者が貴財団の助成を申請することを承諾します。	
年 月 日	
機関名	
役職名	
申請承諾者氏名	印

注 機関の長又はそれに準ずる方 (大学等の場合は学部長・学科長等) の承諾を得てください。



(3) 調査研究のスケジュール (報告書類の作成を含む。)


(4) 調査研究により期待される成果


(5) 調査研究成果の発表予定 (学会・学術誌への寄稿等)


(6) 調査研究における各研究者の役割 (※共同研究の場合)

氏名	所属・役職	本研究における担当内容
(代表者)		
(共同研究者)		
(共同研究者)		

2 この調査研究計画に関係のある調査研究テーマ等に関する事項

(1) 過去、学会等で発表したテーマ・学会名・時期等


(2) 主要な著書、出版物等（共同研究の場合は研究代表者のもの）


(3) 他機関へ助成を申請済み（又は申請予定）あるいは他機関から既に助成を受けている（又は受けたことがある）場合は、申請機関・テーマ・助成期間・助成額等


### 3 調査研究費

(1) 調査研究助成申請金額 \_\_\_\_\_ 万円

(2) 使途明細 (総経費額)

費 目	金 額	内 訳 ・ 算 出 根 拠	
研究補助者経費	万円		
旅 行 経 費		国内	海外
委託・機器経費			
資料・印刷経費			
会議・施設経費			
雑 経 費			
合 計			

(注) 1 旅行経費については国内、海外とも行き先、目的、訪問機関、訪問相手、所要経費等詳細を記載した別紙を添付してください。

2 飲食費は助成の対象外とします。

3 パソコン等の購入費にあてる場合は、研究室等に通常配備されているものでは対応できない理由を記載した別紙を添付してください。

4 助成額は、申請額より減額されることがあります。

4 今回の調査研究に対する助成募集は、どのような方法でお知りになりましたか。

該当する番号に○印をつけてください。

- (1) 募集要項が直接送られてきた。
- (2) 所属機関に送られてきた募集要項を見て知った。
- (3) 上司、指導を受けている教授、同僚等他の人から教えられた(勧められた)。
- (4) 公益財団法人かんぽ財団のホームページを見て知った。
- (5) その他 ( )